

めひの野園



〒930-0143
富山県富山市西金屋6682番地
社会福祉法人めひの野園
TEL.076-436-0270
発行責任者 中田 匡
(表題書)
高岡市中川上町3の31
(故) 社浦 秋水先生

いそ うえ ね は
— 磯の上の つままを見れば 根を延へて
とし ふか かむ
年深からし 神さびにけり —

めひの野園のグループホームのひとつ
「つまま寮」の寮名の由来となったこの歌
にある「つまま」とは、現在の「タブノキ」の
こと。

しづたに さき
渋谿の崎（現在の高岡市雨晴海岸）を
訪れた大伴家持は、海岸の岩上に根を張
る「つまま」の姿に心を打たれ、この歌を詠
みました。

写真は雨晴海岸にある「つまま公園」付
近からの景観。この辺りは県内有数の観光
スポットになっています。

特集

梨の木苑

グループホーム

・いわせのA棟・B棟

・つまま寮

・なでしこ

めひの野園のルーツをめぐる
めひの万葉歌紀行

共同生活援助（介護サービス包括型）事業所

雄大な立山連峰をバックに雨晴海岸を走る氷見線の列車 写真：般若 敏雄（めひの野園写真部）

めひの野園
の
ルーツをめぐる

めひの万葉歌紀行

最終回

めひの野園では、法人名を始め、事業所名のほとんどが「万葉集」から名付けられています。

これまで当園では、たとえ障がいがある方でも地域で当たり前の生活を送れるようにと、9棟のグループホームを開設してきました。中でも、2010年に建設された「いわせのA棟・B棟」、2017年の「つまま寮」、2021年の「なでしこ」は、利用者それぞれの障がい特性に配慮した支援が出来るように仕様や環境が工夫されています。

「いわせのA棟・B棟」の

由来の歌

石瀬野に 秋萩しのぎ

馬並めて 初鷹狩だに

せずや別れむ

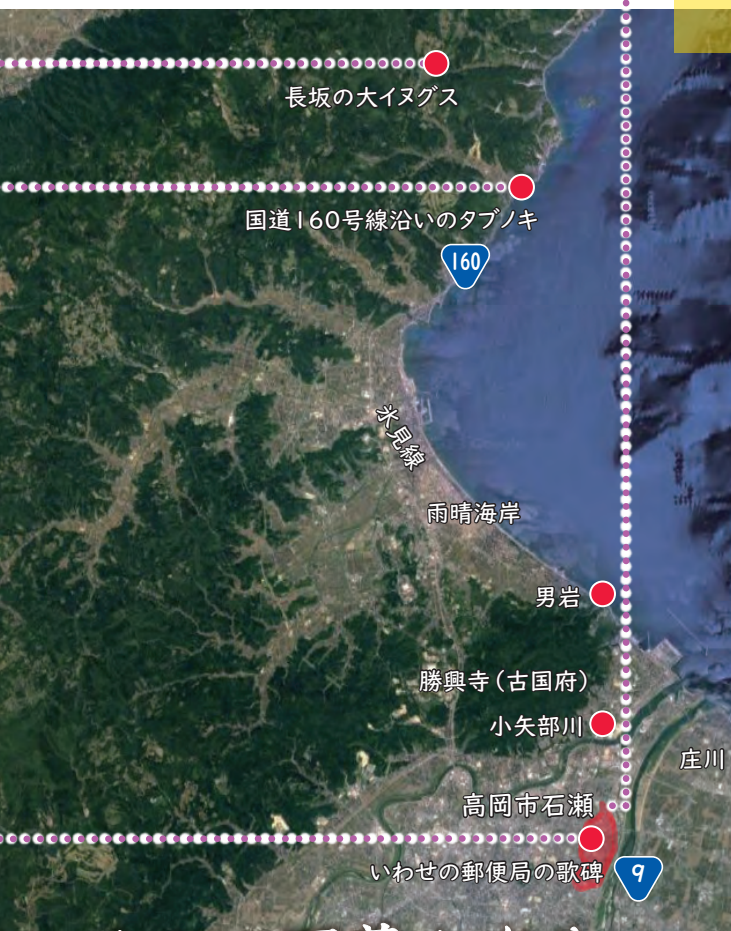
(大伴 家持)

——石瀬野で秋萩を踏みしだきながら馬を並べてする今年初めての鷹狩もせずに（この地と）別れることでしょうか。

「石瀬野（いはせの）」とは？

751年（天平勝宝3年）、大伴家持は少納言に任命されました。

それまで国守を務めた越中の地を去ることになり、都へ出発する前日に家持はこの歌を残しました。「石瀬野（いはせの）」の場所については諸説ありますが、家持が好んで出かけた鷹狩場であったことから、現在の高岡市石瀬辺りと言われています。「初鷹狩もせずに別れるのか」というこの歌からは、家持の惜別の思いが感じ取れます。



「いわせの」から春の苑に通う利用者たち

重複障がいの利用者支援に
特化した「いわせのA棟・B棟」

「いわせのA棟」は男性、「いわせのB棟」は女性の棟で、身体障がいを伴う重複障がいの利用者への支援に特化したグループホームです。
玄関のスロープやトイレ、浴室等、寮内は全てバリアフリーで、車椅子での移動も難なく行えます。
それぞれの個室には床暖房が完備され、利用者さんたちは寒い時季でものびのび快適に過ごせています。

めひの万葉めぐりマップ

「つまま寮」の由来の歌

磯の上の つままを見れば

根を延へて 年深からし

神さびにけり

（大伴 家持）

海辺の岩の上に立っている
つままを見ると、根を岩にし
っかり張って、年を重ねてい
るらしい。神々しいことだ。



氷見市の海岸沿いを通る国道160号線の脇に、しっかりと根を張っている大きな「つまま（タブノキ）」。

神聖なる大樹「つまま」

「つまま」とは一般的に「タブノキ」のこととされています。岩の上に根を張り巨木になる「タブノキ」は、古来から神聖な木とされてきました。

「タブノキ」は主に沿岸部に生育しているため、家持の故郷である奈良の都ではまず目にするがありません。「淡路の崎」（現・高岡市の雨晴海岸）を訪れた家持は、岩上に根を張る見慣れない大樹に驚き、また「妻を待つ松」が語源とされる「つまま」という初めて耳にする名にも異郷の風土を感じ、歌に詠んだのです。

「つまま寮」に込められた思い

自閉症の人への専門的な支援に特化したグループホームとして「つまま寮」は開設されました。

視覚的に分かりやすいようにと色分けされた居室の扉や、ポスト式のゴミ箱等、自閉症の特性に配慮した造りになっています。

「この呉羽の地に
がっちり根を張っ
て生活していつてほ
しい」という思いを
込め、「つまま寮」
と名付けられました。



つまま寮外観。

「なでしこ」の由来の歌

なでしこが 花見るごとに

娘（をとめ）子（こ）らが 笑（わら）まひのほひ

思（おも）ほゆるかも

（大伴 家持）

「なでしこの花を見るたびに、
あの娘の笑顔のあでやかさが思い
出されてならない」



天然記念物「長坂の大イヌグス（別名タブノキ）」



高岡市石瀬「いわせの郵便局」の歌碑

女性専用のグループホーム「なでしこ」

「娘（をとめ）子（こ）」とは、奈良の都に残してきた妻のこと。家持が越中国司として単身赴任して3年目、庭に咲いたなでしこから妻の笑顔を思い出して詠んだ歌です。

女性専用のグループホームとして開設されて3年目の「なでしこ」では、現在も7名の「大和撫子」たちが、それぞれの特性に配慮された環境で、自分らしく暮らしています。



女性専用のグループホーム「なでしこ」での生活。

取材を通じて、当園の知られざるエピソードや、事業所名に込められた思いを知ることが出来ました。ご愛読ありがとうございます。

記・広報委員会 岡崎 秀徳



あ し の た
め ひ の

Vol.29



「筆を持つのは久しぶり」と言いながらも巧みな筆さばき(写真左)。
利用者さんと一緒に空き缶が入ったコンテナを運んでいます(写真右)。

高じた趣味を仕事に活かす
「めひのの職員」紹介します！

自己に厳しく
他に優しく

安井慶祐

(春の苑リサイクル班支援員)

Q. めひの野園で働くことになったきっかけを聞かせてください。

— めひの野園に入職する前は、富山県内の児童養護施設で働いていました。その時に担当していた障害のある子どもが、就業後にどんな生活を送っているのかわりたくなり、障害児・者を支援しているめひの野園に入職したいと思ったのがきっかけです。

旧婦中町の「鵜坂」で育ったこともあって、当園の入所施設「うさか寮」に配属された時は、その名前に運命を感じましたね。

Q. 書道はいつから始めたのですか？

— 小学1年生からです。まるで寺子屋のような習字教室が近所であって、そこでおじいちゃん先生に叱られながらも切磋琢磨しました。集中して筆を運んでいると、自然と気持ちが落ち着き、心が静まっていくのを感じていました。

教室の奥の押し入れには先生の高級な書道道具が仕舞ってあって、そこに隠れて遊んだことも楽しい思い出です。先生に見つかるかと叱られたものですが、高級品にこっそり触れるドキドキ感が楽しかったですね。当手を振り返ると、遊び感覚で楽しく続けられたことが上達につ

ながったのだと思います。

Q. 現在は日帰り登山も趣味の一つそうですね？

— いわゆる本格的な登山のように「より高い山に挑戦すること」よりも、自分にとっては、下調べをして計画を立て、準備を念入りにし、予定通りに帰ってくることに楽しさを感じるのです。これは仕事においても同じかも知れませんね。

Q. 現在担当のリサイクル班は、構造化に力を入れた作業場になっていますね？

— これまで担当された先輩職員の努力で、すでに整った作業空間ではありますが、「構造化に終わりなし」と言うように、今後も工夫を重ね、これまで以上に利用者が作業しやすい環境を作っていきたいと思っています。

Q. 最後に、この仕事を続けていく上での信念のようなものはありますか？

— 中学時代の先生から頂いた「自己に厳しく、他に優しく」という言葉が生涯の目標になっています。この言葉が示す「人を思いやる心」は福祉の精神であり、みんながこの心を持つことが、安心して暮らせる優しい社会作りにつながると思っています。

利用者さんとの関わりの中でもこの思いやりの心を持って接していきたいですね。

「これからも色々なことに挑戦していきたい」と語る安井さんでした。

記・広報委員会 柴田 香菜江



地域の皆様との交流が一層深まることを願って開催されてきた「りんどう祭」。2020年度から昨年度までは、コロナ禍で開催を自粛していましたが、今年11月3日(金・祝)、実に4年ぶりに再開出来ました。

当日は、久しぶりの開催を祝うかのような晴天で、気温は何と28℃まで上昇。とても多くのお客様に足を運んでいただき、会場は11月とは思えない熱気に包まれました。



天候に恵まれ、会場は多くのお客様で賑わいました

「やっぱりイね！めひのの味」

4年ぶりに再開！

りんどう祭

2023

めひの野園ならではの味が
並んだ模擬店会場

模擬店会場には、りんどう祭ではお馴染みの、めひの野園自慢のメニューが目白押し。「りんどう祭が戻ってきたことを実感する」との声も聞かれました。



食欲をそそる揚げたての唐揚げ。



大人気の飛騨地鶏の串焼き。

体育館でのアトラクション
も盛り上がりました

アトラクションのオープニングを飾ったのは、めひの野園の和太鼓サークル「喜楽太鼓」の演奏。コロナ禍で披露する機会が減っていましたが、これまで練習を重ね、その成果が発揮された演奏でした。また、地域の中学校や高校の生徒たちの素晴らしい合唱や吹奏楽演奏、パフォーマーによる楽しいショーなども、会場を温かく盛り上げてくれました。



来場したお子さんと一緒にステージを盛り上げた、パフォーマーHARUKIさん。

これまで当園が目指してきた「地域との共生」に向けた歩みは、コロナ禍によつてその足取りがやや重くなっていました。

しかし、久々に開催されたりんどう祭では、多くの地域の方々が来場され、ふれあいの輪が広まり、次の一步を踏み出せたように感じました。

群々
muretake

めひの野園職員の
雑感コーナー



梨の木苑 生活支援員
東 瑠奈

子どもの頃の夢、そして現在かなった夢

子どもの頃の夢は保育士だった。小さい頃から近所の子とも達とよく遊び、その純粋な目を見ているだけで癒されていた。

今から10年前、近所の保育園での「14歳の挑戦」での経験が、保育士への夢をますます膨らませた。

「お昼寝タイム」でのことである。子ども達は学生の私が声掛けをしても寝てくれなかった。しかし、そこで先生が少しお話しただけで、すぐに眠ってしまったのである。日頃からの信頼関係が子ども達の安心感につながることに、そして、「ただ優しいだけ」、「一緒に遊ぶだけ」ではなく、子ども達の話を聞き、「どうしたいのか」を理解し、「どうしたらよいのか」を説明することの大切さを学んだ。

最終日、私がお別れの挨拶をした後で、一番仲良くなった子から白い封筒を渡された。中には子ども達が描いた私の似顔絵が入っていた。そして、子ども達からの歌のサプライズに感動し、柄にもなくその場で泣いた記憶がある。今でもみんなからの似顔絵は宝物になっている。

高校時代に介護を学んだことで障がい者福祉に興味を持ち、やがてその分野で働くことが夢になった。そして、めひの野園で働いている今も、あの時学んだことを支援に活かしている。時には落ち込むこともあるが、あの時子ども達にももらった似顔絵を見ては癒されている。

子どもの頃の夢は、現在の夢の糧になっている。

めひの
キラリ人!
Vol.12

今回のキラリ!人
ウォーム・ワークやぶなみ
鍋嶋 ほんのかさん

めひの野園では、「利用者さんの好きなこと、得意なこと、出来ることを活かし、それを仕事につなげていく」ことをモットーに支援をしています。

自分の好きなことを続けるうちに向上心が芽生え、日々の仕事への意欲につながっていく…。

そんな「キラリ!」と光る利用者さんをご紹介します!

編む速さは職員も目を見張るほど。
今回の職人は人呼んで、めひのの

「編み物職人」です。

寒い時季には、暖かい毛糸の帽子やマフラー、ベストが重宝しますね。パッと見ただけでは、それが手編みの物とは信じられないほどのクオリティーで編み上げていく利用者が鍋嶋さんです。

毎週月曜日の手芸教室に参加している鍋嶋さんが編み物を始めたのは2年前から。そのきっかけは、「色々なことにチャ

レンジさせてあげて欲しい」というお母さんの希望からでした。

それまで刺し子や刺繍に取り組んでいた鍋嶋さんにとって、初めてのチャレンジである編み物を手ほどきしたのは、地域で手芸店を営みながら週に一回の手芸教室の講師をされている吉田啓子先生。これまでも「本物の技」を利用者に指導してきました。



「どんどん上手になっていくのが嬉しい」と鍋嶋さん。

「最初は編み針の持ち方や、糸のかけ方から覚えてもらいました」と話す吉田先生。何段編んだのかが分かるようにチェック表を用意するなどの工夫をした甲斐があつて、教室に参加するたびに鍋嶋さんの腕は上達していきました。最初に挑戦したマフラーを5カ月かけて完成させた後は、帽子とベストを編み上げました。吉田先生がデザインしたベストは、本人もお気に入りの自慢の一品です。

支援員の励ましでやる気アップ!

「もともと根気のいる作業が得意で、普段作業している『ウォーム・ワークやぶなみ』では、平飼卵のパック用のラベルに、一枚一枚スタンプを押す仕事をしています」と話すのは手芸教室担当の島田支援員。「向上心をくすぐるように褒めているうちに、どんどん編むのが早くなって、今では私よりも速く編めるようになりました(笑)」とのこと。



支援員の応援や声掛けが製作の励みになっている。

これからは持ち前の根気強さを活かし、素敵な手芸品の製作に挑戦してくださいね!

編み物の次は「フランス刺繍」に挑戦するそうです。頑張ってください!

記・広報委員会 岡崎 秀徳





MIPは室賢一
(作業センターぶじなみ)

室賢一

Q. 年齢を感じさせない活躍でしたね?

— いよいよ50歳代を迎えましたが、気力ではまだまだ若い選手に負けていないと思っています! その意味では最も中田監督の印象に残った選手に送られる「MIP」は、「ハッスル賞」だと捉えています(笑)。

Q. 来季の目標は?

— 体力の衰えは感じていま



めひのスポーツ

野球部シーズン終了

めひの野園野球部は今シーズンの全日程を終了した。

野球部員たちは今シーズンも真摯に野球に打ち込み、呉羽リーグは2位という結果に。中田監督が選出する最優秀選手賞(MVP)は中塩選手(ウォーム・ワークやぶなみ)が受賞し、最も印象に残った選手(MIP)には室選手(作業センターぶじなみ)が輝いた。

今シーズン野球部の中心となって活躍した2人。投打に渡る活躍でMVPを獲得した中塩選手(写真左)と、最も印象に残った選手(MIP)に選ばれた室選手(写真右)。

Q. 来季の目標は?

— ピッチング・バッティング両面でチームを引っ張っていく存在であり続けたいと思っています。投球に関しては「技巧派」の投球術を習得するために動画などで研究し、「野球脳」を鍛えていきますね。もちろん「仕事脳」も鍛えていきます!(笑)

Q. 「めひの野園の二刀流」の本領を発揮したシーズンでしたね?

— 昨シーズンは怪我もあり、不本意な部分もありました。特に打撃が不調で、シーズン後にチームメイト達の前で再起を宣言しました。今シーズンは5割2分という好成績で、メジャーリーグの大谷選手よりも良い数字を残せました(笑)。「有言実行の男」と呼んでください!



すが、技術や経験でカバーしたいと思っています。練習にも積極的に参加したいですね。日頃からボールに触れ、基本練習をすることで、動体視力のような感覚的な部分を養えると思います。来期は全試合出場を目指し、この歳でもまだまだ伸びしろがあることを証明します!

2023年度チーム成績表

⑤	④	③	②	①	対戦相手	
パブリンス (呉羽リーグ)	オスカー球団 (呉羽リーグ)	焼肉 慶 (呉羽リーグ)	富山第1銀行 (北日本新聞杯)	パルマラット (呉羽リーグ)		
17-1 ○	10-1 ○	4-4 △	0-9 ●	8-5 ○		勝敗

⑨	⑧	⑦	⑥	対戦相手	
焼肉 慶 (呉羽リーグ)	パブリンス (呉羽リーグ)	オスカー球団 (呉羽リーグ)	パルマラット (呉羽リーグ)		
4-7 ●	6-2 ○	11-3 ○	13-3 ○		勝敗

と喜びを語りました。



リーグ代表の村藤さんから表彰状が手渡されました。

呉羽地区の野球愛好家たちが集い、毎年熱戦が繰り広げられている「呉羽リーグ」では、選手たちにフェアプレー精神を推奨するために「フェアプレー賞」が設けられています。この賞は試合が終わるごとに、対戦相手のプレーやマナー、相手を尊重しているか等をアンケート形式で評価するもので、めひの野園野球部は昨年に続き2年連続で受賞しました。室澤主将は受賞に際し、「地域交流のために

スポーツマンシップを讀えて
「フェアプレー賞」受賞!

富山国際大学付属高校家庭科部より
雑巾寄贈

8月29日、富山国際大学付属高校の家庭科部の皆さんより、ボランティア活動の一環として、心のこもった手縫いの雑巾を寄贈していただきました。有効に活用させていただきます。ありがとうございます。



ご寄付ありがとうございました。

(2023.8.1~2023.12.18) 敬称略

佐藤理容院 富山市
(学)NHK学園 東京都国立市
二上 久利 富山市
花ノ木自治会 富山市
西金屋自治会 富山市
長井悦子 富山市
八川鐵夫 富山市
富山福祉短期大学 射水市
福井美栄子 富山市
金城大学 石川県白山市
吉田勇次郎 富山市
森新樹園 富山市

来訪者

(2023.8.1~2023.12.18) 敬称略

福田博之 射水市
松倉 寛 富山市
竹本 潔史 富山市
政橋 昭子 富山市
廣田 美千代 富山市
亀山 知己 富山市
めひの野園保護者会 富山市
今井 哲治 富山市

寄付金振込口座番号
北陸銀行呉羽支店 店番号120
普通預金6077230
社会福祉法人 めひの野園

富山県人材活躍推進センター 齋藤 道徳
とやまシア専門人材バンク 長岡すみ子
長岡すみ子の会 主宰 長岡すみ子
(株)清祥 長岡すみ子音楽事務所 小森 恒郎
北日本新聞社 生田 稔
北陸電力(株) 水島 輝海
イワタニセントラル北陸(株) 澤谷 亮
オフィスアヴァンセ 土屋 佳瑞
(特非)ありがた家 納村恵里花
衆議院議員 田畑裕明事務所 田畑 裕明
衆議院議員 高 原 理
浅田登記測量事務所 浅田 正明
(株)インサイト 関原 深
富山県立高岡支援学校 野島 峰彦
(株)タカミ・Eサービス 高吉 純一
富山大学教育学部附属特別支援学校
(福)梨雲福祉会 東 克彦
URSジャパン(株) 朝野真紀子
ひまわり法律事務所 中村 春彦
富山県火災共済協同組合 中田 一郎
池淵 昌志
細川 俊彦
野口 猛雄
城村 賛
長森 智昭

後援会名簿

(2023.8.1~2023.12.18) 敬称略

松倉 寛 富山市
(株)門エンジンアリング 富山市
津嶋 順子 富山市
泉商事(株) 石川県金沢市
田辺 健一 富山市
竹内 昭男 富山市
池原 律子 射水市
池原 清 射水市
池原 喜代子 射水市
林 龍史 富山市
竹内 健太 射水市
荒木 昌子 富山市
野村 富男 富山市
松尾 武志 富山市
森下 智代 富山市
くれは製菓 富山市
石野 和夫 富山市
(株)サンジェット 富山市
(株)トヤマデータセンター 富山市
吉田 美雪 高岡市
(株)淀川ランドリー 富山市
松本 隆 富山市
(有)タイセイツアーズ 富山市
福田 知行 富山市
(株)丸協 富山市
清水 善史 富山市
谷川 孝雄 富山市
須沼 雄二 富山市
成年後見人 明野 孝史 射水市
清水 雪乃 富山市
(株)フードシステム 富山市
酒井 利恵 富山市
鍋島 朋子 下新川郡

この度の能登半島地震において被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早く元の生活に戻れるようお祈りいたします。

編集後記

我が家の庭には、今年も真っ赤な南天の実が、枝いっばいに成っている。子ども頃は、友達と実をぶつけあったり、雪で作ったウサギの目にしたりして遊んだものだ。年末が近づくと、「正月の玄関飾りにするから小枝を分けてね」と、叔母が家にやって来るのも毎年の恒例である。

「南天」はその名から「難を転ずる」とされ、日本では縁起物として正月飾りに使われたり、慶事の料理に彩を添える「かいき」として使われたりしてきた。

年の瀬の慌ただしさの中、正月飾りを飾り終え、穏やかに正月を迎えたはずの2024年1月1日。午後4時過ぎに能登沖で発生した大地震は、多くの人が抱いていた、新たな年を迎える喜びや期待感を奪い去った。その後も幾度となく余震に襲われ、不安な日々が続いている。

「当園の利用者や職員の、生き生きとした笑顔を伝えたい」——そんな思いで制作している本紙も、安全な暮らしがあつての物なのだと思ひ知らされた。

被害の大きい地域では交通網や連絡網が遮断されているため、現地の状況が伝わるのがどうしても遅れてしまう。毎朝の報道番組で被害の様子が伝えられるたびに、胸が締め付けられる思いがする。

出勤のため玄関を出ると、庭の真っ赤な南天の実が目に入る。そのたびに願わずにはいられない。「この難が早く転ずるように」……。

(岡崎記)